

Sibata Orange Press

シバタ オレンジ プレス ■ 毎月25日発行 vol.8

特集 新市庁舎の設計思想

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

発行人＝阿部 聡

発行所／(有)アミックス
〒957-0021 新発田市五十公野 4837-6
tel. 090-2733-3568 fax 0254-23-6946

菊水

日本初
プレミアム生原酒缶。
ふなぐち菊水一番しぼり

誕生秘話などを公開中!
ふなぐちブランド 検索
www.kikusui-sake.com/funaguchi
※1972年11月、日本で初めて生原酒缶を商品化。
(株)コミュニケーション科学研究所調べ(2010年1月)
全国の酒販店、コンビニエンスストア、スーパーで発売中
(一部販売店にはての取り扱いがない場合があります。)

菊水酒造株式会社

お問い合わせ
お客様相談室 ☎0120-23-0101 FAX 0120-23-5254
〒957-0011 新潟県新発田市島湖750 受付時間/平日10:00～17:00(土・日・祝日を除く) www.kikusui-sake.com

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒はおいしく適量を。空き缶はリサイクルへ。

使い勝手よく働きやすい機能に、 交流拠点・防災拠点の機能を付加

市役所新庁舎設計者・ヨコミゾマコト氏に聞く

—設計提案の基本的な考え方は？

「新発田に景観調査に入ったのが、5年ほど前。それから何度も新発田を訪れました。そして感じたことは、暮らしている人が町をとても愛していること、食文化に優れていること、記憶(歴史)が重層した町であることです。それと春になると周りは水を張った水田に囲まれてとても美しい。町自体が湖に浮かぶ舟の様に美しい」

—記憶(歴史)が重層したとは？

「お城や足軽長屋などの江戸時代の遺構、大正から昭和にかけての町並み、それと平成と歴史的な建物や町並みが重層的に残っている。そしてその歴史が、暮らしや食習慣も含めて『文化』と言ってよいと思いますが、脈々と生きている。そういうものをまちづくりのランドデザインに生かし、そこからやっと新庁舎の基本的なあり方が導き出される。そして今回提案したなかで最も重要視したのが『新発田の過去から未来へつながる文化的地域遺伝子を活かす』ということなんです」

—その考え方に従った提案の特徴は？

「新庁舎の位置はかつて『札の辻』と呼ばれた交通の結節点、黙っていても人が集まってきた場所です。それを活かしたい。で、考えたのが半屋内空間である1階の『札の辻広場』。3階まである大型シートシャッターを上げれば高い屋根付の屋外広場、雨

が降ってきたら下げればいい。今まで通り台輪のあおりもできるし、コンサートやイベントもできるし、踊ってもいい。屋台も出せる。物販もできる。緊急時には駐車場としても使える。せいかくまちの真ん中にあるんだから、使いやすくして、市役所本来の機能と、賑わいを演出する交流広場としての機能を両立させるための案です。土日や閉庁後にシャットアウトしてしまっ

—提案書類を見たとき、一番感動したのがこれでした。3階までの高さがある大きなシャッター、それが上がっていくと、そこに何があるか。まるで歌舞伎座の幕が開くようで、ワクワクする。いろんな催しに使えますね。

「飛行場の格納庫のアレです。大きなものが動くのを見るだけでも楽しい。使い方は市民の皆さんのアイデア次第です。そのために『ラウンドテーブル』(自由な意見交換会)の定期的な開催も合わせて提案しました。商店街やアーケードと連携して、つながりを広げて賑わいをつくることも必要でしょうね」

—隣接した1階室内にはギャラリーやラウンジ、FMしばたのオープンブース、ワンストップサービスカウンターなどを提案していますし、4階に多目的スペースを設けるなど市民と行政が共同で使う仕組みを

提案しました。議場を1階に持ってきて、文字通りガラス張りにして市民との距離を近くするというアイデアもありました。

「長岡市さんなんかもそうですが、とにかく出来るだけオープンにするというのが大事です。実は僕も議会を傍聴したことがない(笑)。でも、雰囲気は国会中継で分かる。小さいまじでも放送で流していたり、有権者と議員さんの距離が近い、あ、誰々ちゃんのお父さんだ、となりのお母さんだ、頑張れとか、微笑ましいじゃないですか。そうすると今より市政に興味をもってもらえるから、当然市政の発展にもつながりますよね。比喩ではなくて『議員の顔が見える』ことは大切なことで、頑張っている姿、普段の活動を見れば、議会もより活性化するんじゃないでしょうか。市民にとっても議員さんにとっても両者ウィンウィンの関係が築けると思っています。学校の授業で見せに連れてきてもいいですね」

—市民参加・交流という観点で議場の一般開放も提案していますか。

「毎日会議で議場を使っているわけではありません。つへりは重厚で、市民の代表が議論する神聖な場所でもあります。その雰囲気、議会の尊厳を損なわない範囲で、市民に開放し、有効利用する。以前、新発田でも議場でコンサートを行った例もあるそうです。これは単に施設の有効利用という

側面を超えて、市民の皆さんに、議員さん、議会活動の理解を深めてもらうためにとても有効な方法です」

—もう一つ、注目したのが、「中間層免震」という考え方は？

「神戸・中越のときも、今回の大震災でも、防災拠点が健全か、あるいは破壊されているかで、人命救助やその後の復旧・復興に大きな差が出ました。防災拠点としての機能を考えたとき、免震は必須なのです。が、これからさらに資料を集め検証することによって、中間層免震がどこまで合理性があるかどうかの検証が必要です。ただ現在の条件の中ではきわめて合理的。基礎免震にすると真っ先にかからないと工期に影響しますし、費用も高くなる。中間層免震は初期建設費用・運用維持費も安くなりますし、上に重い構造物を載せることで揺れを小さくする効果があります」

—これからの進め方は？

「設計の時間を1年いたただけたことは大変ありがたいことです。この間、建設室の方や議員さん、それと『ラウンドテーブル』という市民の皆さんとの意見交換会を重ね、その後、専門家を中心とした『デザインシャレット』(審議会)で、取り入れるべき意見、取り入れ可能な提案を検討し、最終的な設計に入ることを提案しました」



ヨコミゾマコト
(有)aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所代表。東京芸大建築科准教授。主な作品に「富弘美術館(日本建築学会賞作品賞)」など。

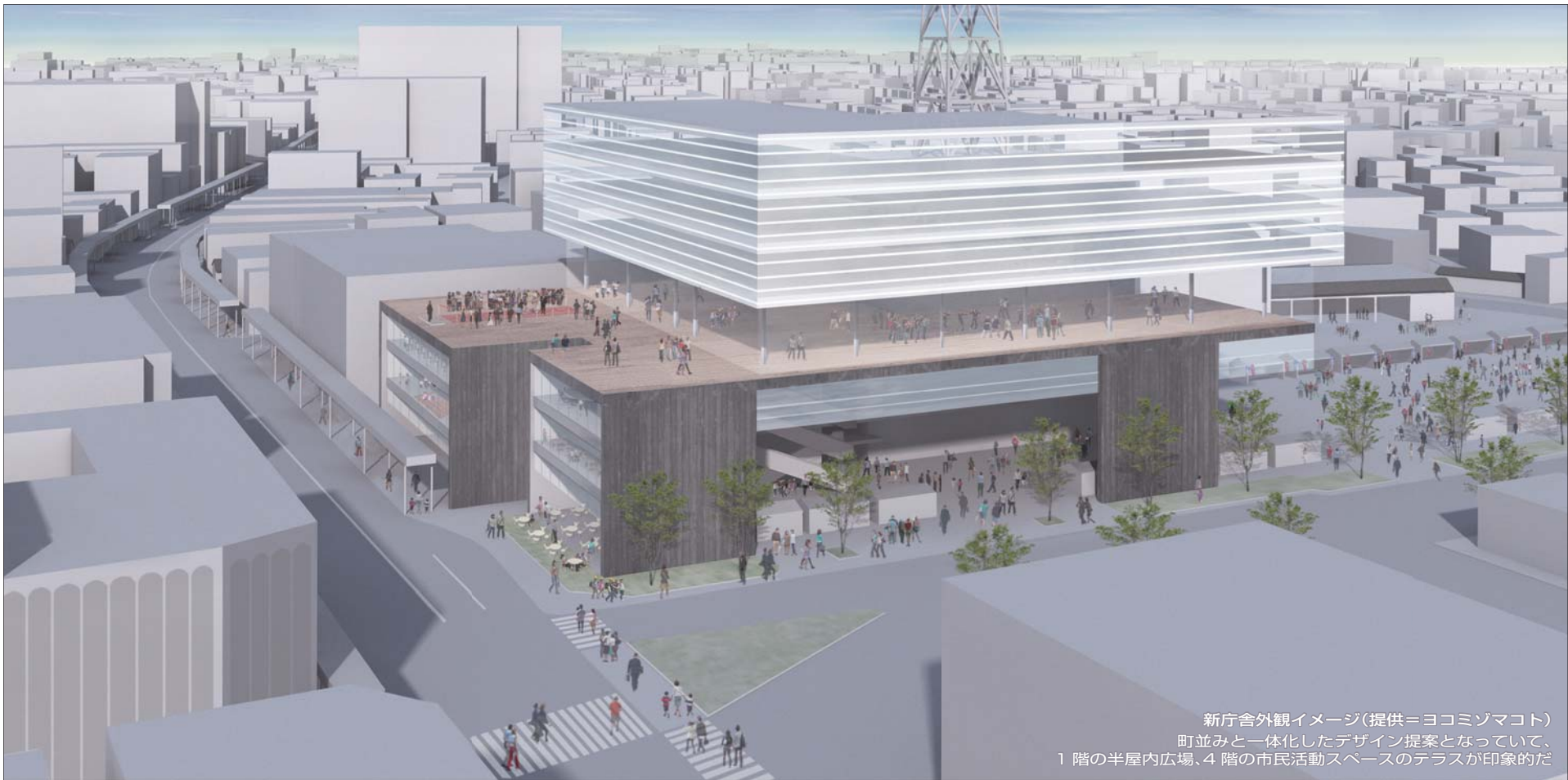
コラム

水の都 しばた



すくすく育てる若苗たち

▼「新発田は湖上に浮かぶ水上都市」あるいは「水田に囲まれた新発田は、水に浮かぶ舟のようで、夢のように美しい」。新市庁舎の設計者に選ばれた東京芸大・ヨコミゾマコト氏の言葉である。氏は表現を変えながら、何度も賛辞を繰り返した。▼住んでいると気づかないが、都市生活者にとって豊かな水に恵まれた新発田の自然は羨望と憧憬の対象だ。「町の中の新発田川には流れの上に市場が建っていたりして、そこに昔から受け継がれてきた『暮らし』があるのも優れた新発田の文化」だとして、新発田川にも注目していた。氏の新市庁舎の建設のあり方の提案の根幹をなすのが、新発田の文化に対する尊敬の念。▼半屋内空間「札の辻広場」の提案はその象徴だ。また、議場の1階への設置は、「札の辻広場」での市民間交流促進に加えて、議員と市民の垣根を低くして、より理解が深まることを目指している。人が集まり、情報を相互に交換・共有することは「まちづくり」に欠かせない。▼平成21年に制定された「新発田市議会基本条例」によれば、討議のあり方を規定する第9条で「その過程および結果について、市民に分かりやすい説明責任を果たさなければならぬ」としている。議場を1階に設置し、他の所用で訪れた市民が、普段に議会活動の一端を目にすることは、市民の市政・議会活動への理解をより深めることになり、条文の主旨と一致する。



新庁舎外観イメージ(提供=ヨコミゾマコト)
町並みと一体化したデザイン提案となっていて、
1階の半屋内広場、4階の市民活動スペースのテラスが印象的だ

ヨコミゾ氏による画期的な提案、 基本的な考え方と具体的な機能を探る

新庁舎提案選定のポイントは 新発田への理解の深さと独創性

新庁舎建設にあたっては、公募型提案競技が行われ、10者が応募し、一次審査で4者に絞り込まれ、公開提案後の二次審査でヨコミゾ氏が最優秀者に選定された。

ヨコミゾ氏の提案の特徴をざっと見てみる。まずは新庁舎の基本的な理念として次の6点を挙げてみる。

- ①庭めぐり、寺めぐり、まち歩きの手結節点
- ②中心市街地活性化の核
- ③近世から引き継ぐ「文化的地域遺産」を継承
- ④50年先を見越したランドデザインをリード
- ⑤まちの背骨に人の流れを作る
- ⑥まちの祭りともにある

この提案は、3月15日(木)に開かれた新庁舎建設設計者選考委員会(委員長「作山康・芝浦工大教授」)から「新発田の歴史や文化に対する理解が深く、様々なアイデアと確たる設計思想を持ち、かつ市民との信頼関係を重視して設計案の向上に向けた姿勢が評価された。創造的な市庁舎の提案は、新しい新発田の魅力になる可能性を有している」と評価された。

維持費の低減にも細かく配慮、 全体として交流・賑わい創出に力点

次に、新庁舎は7階建てで、総床面積約1万2千㎡、コの字型の建物、具体的には以下の提案がなされた。

①NTT東側3階部分までを大型シー

- トシャッターを使った半屋内広場(札の辻広場)とし、多目的に使用できる
- ②議場を1階に配置し、ガラス張りとし市民と議会との距離を縮める
- ③1階室内はエントランス空間とし、カフェ・ギャラリー・FMしばたのブース・ラウンジ等を配置した交流空間で、ワンストップサービスカウンターを設置する
- ④4階は多目的ホールや会議室・テラスなどを設置し、市民活動のための場として利用できる(市役所とタイムシェア可)
- ⑤基礎免震ではなく、建設・運用維持コスト削減のために中間層免震を採用、上層階に防災拠点として機能させるべき諸設備を集中配置する
- ⑥ランニングコスト(維持費)削減のため、地下水利用のヒートポンプ、木質チップ利用のバイオマスボイラー、換気には自然換気可能なハイブリッド・ダブルスキンプァサード、執務室は太陽光を最大限に利用する設計などを提案している。これにより現庁舎に比べ㎡あたりでCO2の排出は約41%減、光熱水費は約33%減を達成する
- ①②③④については前頁で触れた。④は交流の拡大や市民活動の活性化に寄与するもので、⑥は環境への配慮とコスト削減を目指すもので、当然のことであるが、「ムダをなくして、そのお金を教育・福祉・産業育成に回す」という市長の方針とも合致している。

なお、昨年、新庁舎建設構想等策定委員会が策定した基本計画案(委員長「相澤順一・新潟職能短大」)で指摘された「駐車場」「交通混雑」「災害時の拠点性」の諸課題についても、それぞれ長期的・短期的な対策が提案されている。

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851	介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL. 0254-24-1761
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	篠田労務管理事務所 新発田市新富町 1-5-9 TEL.0254-22-5649	複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市諏訪町1-10-38 TEL.0254-24-1111	(株)ワゴードライ 新発田市佐々木 3445 TEL.0254-27-2261
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711	四季折々の美味 割烹旅館 多奈可や 新発田市稲荷岡 2066 ☎0254-41-2013	
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101	[生]を [旬]を おまや 城下町の味処 ぬ部八 新発田市御幸町1丁目1の1 ☎(0254)22-2102(代) 新発田市 26-1515	
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011	はな やす 新発田寄場 24時間受付	
SODデザイン 高橋智志 新発田市新富町 1-1-3 ストライトビル2階 TEL.0254-24-5121	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000	■斎場 / 新潟県新発田市荒町 1521 ■仏事センター / 新潟県新発田市荒町 1490 TEL (0254) 22-1320 FAX (0254) 24-5156	
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191		
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	新潟ファームサービス(株) 新発田市五十公野 4104-1 TEL.0254-20-3828		
(有)クサカベモータース 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030		
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字鳥越 4666-1 TEL.0254-28-5136		
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700		
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	村上館湯伝 新発田市月岡温泉 230 TEL.0254-32-2231		



『札の辻広場』は3階まである大型シートシャッターを上げると、商店街と連続する半屋内広場になる。台輪のおおりにイベントの開催・物販なども可能、緊急時には駐車場となる

本設計完成までの手順は？ 市民参画の場は十分確保されるか？

今回の提案は、作品競技（コンペ）ではなく、新庁舎建設に関して、あくまでも基本的な考え方の提案（プロポーザル）だった。つまり、本格的な設計に入るのはいくらかである。

本設計までの手順として提案された手法が市民が自由に参加できる「ラウンドテーブル」（意見交換会）の設置だ。

去る4月22日（日）、生涯学習センターで150人の参加を得て、ヨコミソ氏自身による設計に関する基本的な考え方の説明が行われ、次のステップとして、6月6日（水）午後7時から、地域交流センターあり館で「ラウンドテーブル」が開催される。誰でも参加可能で、事前の申し込みは不要である。

「ラウンドテーブル」とは文字通り丸い机のこと、何の隔てもなく、平等の立場で意見を言い合おうというもの。ヨコミソ氏の提案書には「そこから生まれた優れたアイデアは順次ワークショップ（デザイン・レット）専門性をもった審議会」に取り上げられ（中略）本計画にフィードバックされていくという。同時に、参加し、議論することで「新発田のまちづくりのリーダーが自然に見いだされ育っていく場」（同提案書）にしようという目論見だ。

新庁舎建設室長の青木孝夫氏は、ラウンドテーブルの開催について「設計を完成させるには市民の意見を十分に聞いて、可否を含めて柔軟に対応したい」と期待を込めて語った。

「ラウンドテーブル」の開催を受け、次は建築家・都市計画家・社会学者など専門家による「デザイン・レット」（審議会）を開催、両会ともおおむね4回程度を予定しているという。そこでは「ラウンドテーブル」での提案を取り上げるべきかどうかも含めて議論され、本設計に生かされることになる。

とになる。

「基本的にはヨコミソ提案に沿った形で進められますが、細部に至ってはまた解決しなければならぬ問題も多く変更・改善点も出てくるでしょう。まずは遠慮なく、いろいろなアイデアを出してほしい」（青木室長）。

決め手は市民のソフト力、 市民活動をコーディネートする人材

ヨコミソ氏は、職員の働きやすさ・市民の使い勝手のよさは当然として、交流・賑わい創出の場として新庁舎のあるべき姿を提案した。この案の成否は、実は「交流の場としてどう使うか」「つまり市民が主体的に参加し続けるかどうかという、市民のソフト力にかかっている。

「1階の『札の辻広場』は今までのようなイベントに使ってきた実績があるので心配ありません。ですが4階の市民活動スペースはどうでしょうか。これを使いこなすには、出された多くのアイデアを、それを大所高所から緩やかにコーディネートできる人材が必要です。そういう人を発掘し、育てる意味でも、ラウンドテーブルの開催と成果はとても重要です」（ヨコミソ氏）。



1階に設けたいとの提案のあったガラス張りの議場のイメージ。休会時には市民にも開放し有効利用する

中古リユース業界日本最大級！ めざせ1,000店舗！！

ハードオフグループはリユースを通じて循環型社会に貢献してまいります

お売下さい

全国 **672** 店舗
平成24年4月末現在

HARD-OFF ノートパソコン・アンプ・スピーカー・ギター・キーボード・液晶テレビ・DVDデッキ・DVDソフト・デジタルカメラ・ゲームソフト・カーグッズ・プラモデル など 新発田店/TEL (0254) 22-1755	OFF HOUSE ブランド品・アクセサリ・テーブル・イス・インテリア照明・ギフト・レディース&メンズ・子供服・冷蔵庫・洗濯機・掃除機・スポーツ・アウトドア・生活雑貨・ホビー など 新発田店/TEL (0254) 23-7877	Garage OFF アンプ・スピーカー・ナビ・ステアリング・スポーツシート・工具・エアロパーツ・マフラー・タイヤ・アルミホイール・専門月刊誌・ラジコン・ミニカー・プラモデル・自転車 など 新発田店/TEL (0254) 26-2510
Hobby OFF 食玩・カプセルトイ・年代物玩具・ミニカー・カード・Nゲージ・スケールプラモデル・ラジコン・ノベルティ・フィギュア・超合金・TVゲーム各種本体・ゲームソフト など 新発田店/TEL (0254) 20-5450	BOOK-OFF 読み終わった本（コミック・活字本・月刊誌など）・CD・DVD・ゲームソフト など 新発田店/TEL (0254) 26-6300	お店情報を ケータイでチェック!! 携帯用ホームページアドレス http://www.hardoff.co.jp/I/

営業時間/AM10:00~PM8:00
ブックオフ新発田店のみ AM10:00~PM10:00
◆お客様相談室/TEL.0254-23-8102 (受付時間/水曜日を除く10:00~19:00) ※出張買い取りについては各店舗までお問い合わせ下さい。

SWビル ソフトウェアビル 1F・3F
1F:59坪 3F:28坪
テナント募集
新潟県新発田市住吉町5丁目12-22
お問い合わせ TEL.0254-24-4343 山本

至新発田駅
新発田IC
ガレジオ
ハードオフ・ブックオフ
オフハウス・ボックスショップ
新発田自動車学校
オートバックス
ホビーオフ
イオン
新発田駅
西新発田駅
新発田駅
新発田駅

大創業祭

恒例の **もちまき大会**

そば&うどんの振舞いなど
イベントが目白押し！
※イベントの詳細については、お電話にてお問い合わせ下さい。

6/9 土曜日 10 日曜日 9:00 開店 **旬の野菜やお米も大特価販売！**

農家の直売所 **とんとん市場**

●新発田店 9:00~18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229
●松崎店 9:00~19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

新発田IC 第四銀行 新発田駅 豊浦病院 農業高校 花安 月岡温泉 旧水原

新発田IC 小島屋 総本舗 湯ったり苑 カワチ とんとん市場 松崎店 イオン 一日市IC 海老ヶ瀬 IC 新発田

さくらんぼの季節！ 五十公野の直売所へ

新潟では聖籠町がさくらんぼ産地として有名だが、栽培の歴史は新発田のほうが古い。日本ではドイツ人・ガルトネルが、明治初期に北海道で栽培に取り組んだのが最初だった。新発田では明治16（1883）年（一説では明治17年）、ヨーロッパ留学から帰った白勢和一郎が、現在の新発田市五十公野・山王地区にりんご・洋梨・桜桃などの果樹園（2ha）を開いた。今からおよそ130年前のことである。一方、聖籠町での栽培は昭和10（1921）年頃から始まったという。その後、聖籠町では近年に至って官民挙げての大規模な客土やかんがい事業を展開、同時に宣伝・販売普及に努めて県内最大の生産地となった。



浅香果園の浅香サツ子さん & 正範さん

五十公野のさくらんぼ「佐藤錦」は量より質、甘み・酸みのバランスが絶妙

新発田は生産量は少ないものの、「新潟県」のさくらんぼ発祥地の誇りを胸に「浅香果園・浅香サツ子さん」、五十公野・山王地区を中心に約20軒の生産農家が互いに栽培技術を競いつつ、甘くて大粒、良質なさくらんぼを生産している。

さくらんぼは絶えず品種改良が行われてきたため品種は多く、新発田では6月上旬の「高砂」「香夏錦」に始まり、下旬からは人気の「佐藤錦」「紅秀峰」、最晩生の「ナポレオン」と続く。

さくらんぼの代名詞ともなっている「佐藤錦」はさくらんぼの王様。固くて酸みのある「ナポレオン」と甘いけれどやわらかくて保存・運搬が難しい「黄玉」との掛け合わせで大正初期に生まれたもので、五十公野のさくらんぼの主力も「佐藤錦」だ。今年の旬は6月20日頃と予想される（詳しくは下記直売所に問い合わせを）。



「佐藤錦」生産のこだわりは **高い糖度と大きさと輝き**

山形の認定基準では大きさはL（直径23㎜）、糖度20度以上で「秀」という最高ランクを与えているが、竹内果園の竹内曉さんは「2L（直径25㎜）以上、甘さは28度を目指しています」と胸を張る。実際に測定した昨年の糖度は平均24～25度。この甘さと大きさを実現するために剪定と完熟には徹底的にこだわっている。

品質で勝負する新発田は五十公野のさくらんぼ、直売所での美味しさを実感してほしい（一部、とんち市場でも販売）。

五十公野・山王の「さくらんぼ」の産直販売所

● 浅香果園（代表 浅香サツ子）
新発田市五十公野 237（山王集落入り口）
直売所 TEL&FAX.0254-24-1500
期間 / 6月上旬～ 営業日 / 毎日 9:00～17:00
備考 / 贈答用、全国発送可

● 浅香農園（代表 浅香幸作）
新発田市五十公野 383-6（山王集落入り口）
直売所 TEL.0254-26-3411
期間 / 6月上旬～ 営業日 / 随時
備考 / 贈答用、全国発送可

● 竹内果園（代表 竹内曉）
新発田市五十公野 882
直売所 TEL&FAX.0254-24-8704
期間 / 6月中旬～ 営業日 / 毎日 8:00～18:00
備考 / 贈答用、全国発送可

完熟した竹内果園の佐藤錦

吉田育子 Ikuko Yosida

おいしい米粉レシピ
Komeko Recipe

米粉でつくる簡単レシピ 27点

吉田育子 著

大好評 「おいしい米粉レシピ」発売中!!

new book

カンタン美味なレシピ 27品

じゃが芋パンケーキ

はんぺんの米粉茶巾

油淋鶏

大判だから (20cm×22.5cm) 見やすい

米粉コラム付き!

新潟調理師専門学校 校長 吉田育子

日本人の主食であるお米を毎日食べてほしい、そんな思いからこの本がうまれました。米粉は特徴を生かせば、いろいろな料理に幅広く使え、おいしく簡単に調理できます。家庭ではまだあまり使ったことがない主婦の方も必見です。お米、米粉の意外な美味しさに出会えると思います。

本についてのお問い合わせ・お申し込みはこちらまで **送料無料**

新潟調理師専門学校 TEL 025-244-2161 FAX 025-247-7928
〒950-0906 新潟市中央区東幸町 8-8